

加 建 第 309 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

宮城県加美郡加美町長 佐 藤 澄 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

宮城県 加美町

道路財源問題は、地方にとって道路整備はもちろん地方財政にとっても大変重要な問題である。

平成20年度における加美町の町道への税、交付金、交付税は併せて10億円程となっており、一般会計に占める割合も高く、財政上これ以上の低下を招くと、町全体の予算編成にも大きな支障が生じてくる。

現在、次年度以降の道路財源については未だ不透明であり、大変懸念されることから前年度並みは最低確保していただきたい。

- ・ 地域間格差への対応のため地方が主体的に取り組めるよう財源の充実をはかること。
- ・ 道路整備計画の策定にあたっては、地方部における道路整備の必要性を認識され、地方の要望を十分に盛り込むとともに十分な事業量を確保し積極的に整備すること。
- ・ 各施策について地方の自主性を尊重すること。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

宮城県 加美町

○ 現状

加美町は、旧中新田町・旧小野田町・旧宮崎町の3町が、平成の大合併で、東北第1号として平成15年4月1日に誕生した。

合併時の人口が28,540人から平成20年9月末では26,808人と5年半余りで1,732人の減少となっており、高齢化比率も26.3%から28.9%となっている。

少子高齢化が今後も人口の減少と併せて急速に進むと考えられる。

道路については、町道837路線655.6km、橋梁275橋(内15m以上52橋)、国道2路線(347号、457号)42km、県道8路線50.6kmとなっている。

合併時の新町建設計画に記載された道路事業等が繰り延べされている状況下、住民からの更なる要望が出てきているが、財政的に厳しい状況にあるため、道路新設改良にかかる予算の大幅な削減及び道路維持等の予算確保までが難しい状況にある。

○ 課題

町の財政は、町税の減収、三位一体改革による地方交付税の削減を受け大変厳しい状況となっており、今後の行財政運営に当たっては、町民の理解と協力の下に、行政改革実施計画や中期財政計画を着実に実行するとともに、各施策の精査・財産の適正かつ有効な運用等に取り組み、将来にわたっての健全な財政運営を目指していかなばならない。

町道整備については、行財政計画との兼ね合いから必要最小限度とならざるを得ないが、道路維持に関することについては、住民サービスの低下に直決することからこれ以上の削減は限界に来ている。

橋梁については、15mを超える町管理の橋が52橋あり、平成19年度から随時橋梁点検を実施しており、23～24年度に長寿命化修繕計画の策定を行いたい。

国県道については、併せて10路線、92.6kmがあり、現在の広域的交流等に必要不可欠な路線となっております。国道347号については、宮城・山形両県の中核都市圏を結ぶ路線として、国道457号については、中山間地域の連携軸、そして国道4号のバイパスとして、各県道については、最上県域及び大崎県域との交流拡大、地域振興として必要な路線であります。

以上のことから、中期的な道路整備計画策定に当たっては、地元の要望を十分に盛り込むとともに、事業量の確保を図っていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②―②地域の目指すべき将来像

様式 ③

宮城県 加美町

加美町では、まちづくりの基本理念「ゆとりと豊かさを享受でき、子どもから高齢者まで生きがいをもって、創造的な文化活動や産業活動が活発に行われる地域社会の創造」に基づき、その実現に向けて、下記の6つの将来像を設定している。

- 自然と共生する地球にやさしいまち
- 健やかで元気あふれるまち
- 安全で快適に暮らせるまち
- 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち
- だれもが楽しく学べるまち
- 住民と行政の協働による自立するまち

上記の土地利用構想の中で、「生活の基盤を構成する道路の整備、交通確保」として国道347号及び国道457号を骨格にその他の県道及び幹線町道で構成するトライアングル型の広域道路網と、生活道路とのネットワークの形成による体系的な道路網の構築に努め、住民の日常生活における利便性の向上を図ること、また、公共交通機関の維持、拡充に努めるとともに、地域特性を活かした道路景観の整備や、人にやさしい道づくりを推進することを将来像としている。

「施策実現のための展開・事業と内容」

総合的な交通体系の整備	町の骨格を形成する幹線道路網の整備	国県道の整備の促進 幹線町道の整備の促進
	生活関連道路網の整備	生活関連道路の整備の促進 道路機能の適正維持、修繕の推進
	冬期の交通確保	防雪柵等の設置 除雪車等の購入の促進
	住民バスの運行	住民バス等の運行
	通学路、歩道整備事業の充実	通学路の安全対策の充実 歩道の設置の推進
交通安全対策の充実	交通安全施設の整備促進	ガードレール、標識等交通安全施設の計画的な整備の推進 道路網の整備にあわせた安全な道路環境づくりの推進
	交通安全運動の充実	地域、学校、職場等における交通安全講習会等の実施による交通ルールの遵守や交通マナーの向上 交通安全組織の機能強化の促進
		死亡事故ゼロ運動の推進

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等

様式 ④

宮城県 加美町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・地域活力の向上	国道347号改良促進	同国道は、宮城、山形両県の中核都市を結ぶ重要な路線であり、両県にとって、文化、経済、産業、観光など地域間交流の基盤として、活力ある、自立した地域づくりにかくことのできない極めて重要な路線である。	国道347号改良促進期成同盟会 (宮城県大崎市、加美町、山形県尾花沢市、村山市、大石田町)
・良好な生活空間、自然環境の形成	国道457号未改良区間の改良整備、交通安全施設整備、バイパス建設等中山間地域の連携軸としての整備促進。	周辺地域は、心安らぐ自然資源(栗駒、舟形リゾート地域整備、宮城蔵王観光整備)や歴史、文化を活かした地域づくりを進めております。各地域が従来の行政単位を超えて進めることが地域政策に必要であり、その役割を担う大変重要な路線であります。また、国道4号のバイパス的役割を果たす効果が期待される。	国道457号整備促進期成同盟会 (岩手県一関市、宮城県栗原市、大崎市、加美町、色麻町、大衡村、大和町、仙台市、川崎町、蔵王町、白石市)
・広域的連携による地域活性化	主要地方道「最上鬼首線」及び一般県道「最上小野田線」並びに「鳴子小野田線」の早期整備	宮城県北西部は、大崎地方拠点都市地域の中でも「自然、生活共生ゾーン」に位置付けられ、伝統工芸や歴史、文化、自然を活用し、地域振興に力を入れているところである。県境を越えた広域的連携の基盤となり、地域発展、地域間交流に大きな役割が期待できる。	大崎市、加美・最上町道路改良促進期成同盟会
・安全で快適に暮らせるまち	総合的な交通体系の整備 「町の骨格を形成する幹線道路網の整備」、生活関連道路網の整備、冬期の交通の確保、住民バスの運行 交通安全対策の充実 「通学路、歩道整備事業の推進」、「交通安全施設の整備促進」、「交通安全運動の充実」	加美町は、宮城県における「平成の合併第1号」として、平成15年4月1日誕生した。それぞれの地域の豊かな資源や歴史文化を受け継ぎ、均衡ある町づくりを図り、一体の地域として発展していくことが重要となります。加美町の現状や課題を見据えながら、行政と住民の協働のもとに、時代に即し、住民の立場に立った施策展開と行財政運営を図り、自立したまちづくりを進めていくための今後の指針を明らかにするために「加美町総合計画」を策定したものである。	加美町総合計画